

3日目 7月17日

会 場: 県立浜山球場

第1試合		～2回戦～ (9回サヨナラ)																				
T E A M		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	R	H	E			
大 田		0	0	0	0	3	0	0	0	1							4	10	3			
立正大淞南		3	1	0	0	0	0	0	0	1X							5	12	0			
(投手-捕手)																						
・ (大)		沖→坂根 - 妹尾																				
・ (淞)		持田→興梠 - 谷川																				
(長 打)		(二塁打)						(三塁打)						(本塁打)								
・ (大)		重富																				
・ (淞)		藤田、山田						外間														
(審判) [球審]		仁科孝			[一塁]			流田			[二塁]			仁科大			[三塁]			大谷		
(チーム成績)																						
チーム	打	安	点	二	三	本	振	四	犠	盗	残	併	守	備	失	暴	ボ	逸	打	妨		
(大)	35	10	4	1	0	0	6	0	3	0	7	0			3	0	0	0		0		
(淞)	33	12	5	2	1	0	0	2	3	4	9	1			0	1	0	0		0		
「春4強対決はサヨナラで立正大淞南に軍配」																						
<p>春の4強どうしが初戦で激突し、2回戦屈指の好カードとして注目された。春の大会は準決勝で直接対決の末、10対9の1点差で立正大淞南が勝利している。</p> <p>試合は初回から点の動く展開となった。1回裏立正大淞南は1番藤田の左線2塁打を皮切りに相手失策、盗塁などで無死2・3塁とし、3番島袋のセンターへの適時打で1点先制する。更に4番5番にも連続適時打が飛び出し、いきなり3点をリードした。2回裏にも立正大淞南は勢いそのままに、安打と犠打で2死2塁とし、1番藤田の放ったフライをレフトとセンターがお見合いし、1点を追加した。</p> <p>対する大田は、5回表に反撃を見せる。ここまで2安打と抑えられている持田に対し、6番妹尾の中安を起点に犠打と内野安打で1死1・3塁とチャンスをつくると、9番中田のライトへの適時打で1点を返した。その後2番森脇、3番重富にも連続適時打が飛び出し1点差に迫った。</p> <p>ここから試合が落ち着き、8回表まで両チームチャンスが作れない状況が続いた。8回裏淞南は2塁打と相手の失策、死球で1死満塁のチャンスをつくるが、二ゴロ、レフトのファインプレーに阻まれ得点できなかった。すると9回表に大田は、この回の先頭岩谷が左安を放つと野選と犠打で1死2・3塁と一打逆転のチャンスをつくり、1番福井の遊ゴロの間に同点に追いつく。しかし、後続が続かず逆転はならなかった。9回裏、大田はこの回から坂根に継投するが、いきなり3塁打を打たれると味方の失策と申告故意四球で無死満塁とされ、最後は2番山田のセンターへのサヨナラ適時打で決着がついた。</p>																						

